



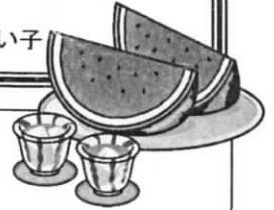
# 西小だより

学校 Web サイト URL <http://nishiurawa-e.saitama-city.ed.jp/>

～一人ひとりが「幸せ」になる教育の推進～

学校教育目標

- 一夢がわき 心もはずむ 西小の子
- ・素直で心豊かな子
- ・進んで学習する子
- ・ねばり強くたくましい子



## 節度【流されない】

校長 三村 悟

青空とヒマワリと白い雲が夏本番を告げています。明日から8月28日まで、土曜日曜を含め39日間の夏季休業日が始まります。子供にとって学校で勉強することは、大人が仕事をするのと同じような重みをもってしています。やりがいがあって、楽しくて仕方ないという時があれば、面白くなって行くのが辛いという時もあるでしょう。それでも、目標に向かって1日1日を積み重ね、71日間頑張りました。

明日からは、子供にとってしばらくその「重み」から解放され、自由に過ごせる日々がやってきます。きっと子供たちの胸の内は期待でいっぱいなのでしょう。そこで、終業式では、1学期の成長を称えるとともに「節度」という言葉について話しました。

5年生の道徳の副読本(来年度からは教科書になります)に『『早起きは三文の徳』の意味は?』という短い話が載っています。概要は次のとおりです。

ある朝のこと。たかし君は母親に起きるのが遅いと小言を言われ、不機嫌なまま登校する。登校途中にも気持ちがおさまらないたかし君は、気持ちを分かってもらおうと、仲良しのさとし君に朝のことを話す。すると、さとし君から「早起きは三文の徳」ということわざを知っているかと質問され、さとし君も母親と同じようなことを言うのかと、不愉快になりかける。しかし、おじいちゃんからことわざを教わったさとし君が、実際にやってみるとよいことがあったという話を聞いて興味を持つ。特に良いことが無いまま何日か過ぎ、もうやめようかと思いつつ迎えたある朝。自分の体が何かこれまでより調子が良くなっている感じがして、学校の保健の先生に話し「体内時計」のことを教えてもらう。自分の体調の良さの理由が分かり、その後も早起きを続けるうちに「三文の得」ではなく「三文の徳」と言われる意味が分かるような気がしてきた。

損か得かという価値観だけでは、「早寝早起き朝ごはん」をはじめとした、望ましい生活習慣を身につけさせることは難しいでしょう。「徳」というのは、周りの人に良い影響を与える心の力といえます。「早起きは三文の徳」という諺から、早起きという具体的な行いを通して心を鍛え高めていくという、昔から伝わる知恵が学べます。

子供たちには、①夜遅くまで、テレビやゲームをしない。②交通ルールを守る。③お金の使い方に注意する。この3つを例として挙げました。

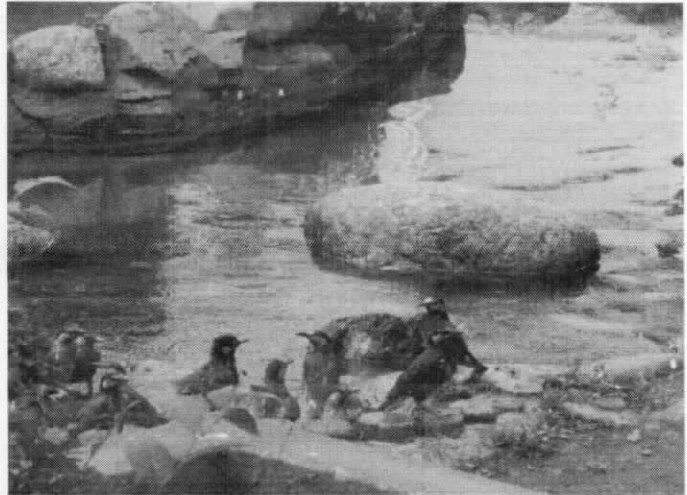
御家庭でも、夏休み中の楽しい計画と共に、守るべき約束をお子さんと話し合ってみてください。8月29日に元気な挨拶を交わせることを楽しみにしています。



(書…星和哉事務主査)

# 西浦和の小の アルバム

7月



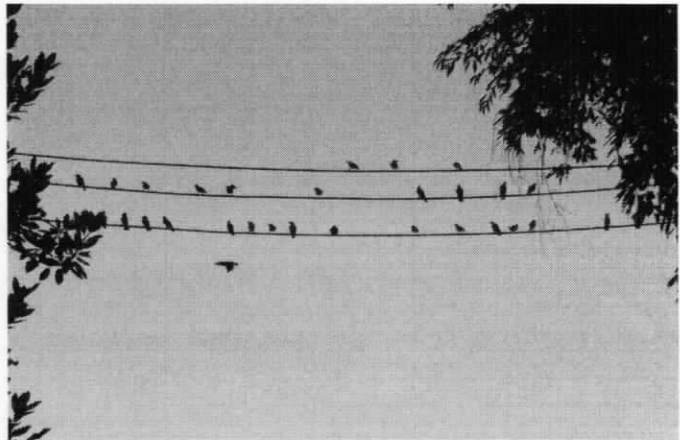
## シジュウカラの「楽園」

中庭の池には夕方になると、シジュウカラの大群が水を求めて訪れます。校舎北側の電線に「整列」し、仲間を待つ姿は、五線譜にしたためられた音符のようです。(八分音符に見える三段目。仲間をせかしているように見えませんか?)



## 太陽の「暈(かさ)」

体育朝会の日の朝、太陽に「暈(かさ)」がかかりました。天気が悪くなるしるしですが、こんなにはっきりと見えるのは珍しいです。



## < 夏季休業中の工事・諸作業について >

児童のいない休業時に併せ、さまざまな工事や施設点検作業が行われます。作業にあたっては危険のないように現場でも十分に御注意いただきますが、下記につきまして、改めてお子様共々、御確認下さいますよう、お願いいたします。

### 1 南校舎アスベスト除去工事 (7/24~8/28)

南校舎への出入りは一切できません。(教職員も同様です。万一侵入のあった場合は、最悪の場合、工事が休止となり、工期が延長になる場合もあります。忘れ物等で校舎に入ることは厳に御慎みください。) また工事車両等の出入りも多くなります。併せて御注意ください。

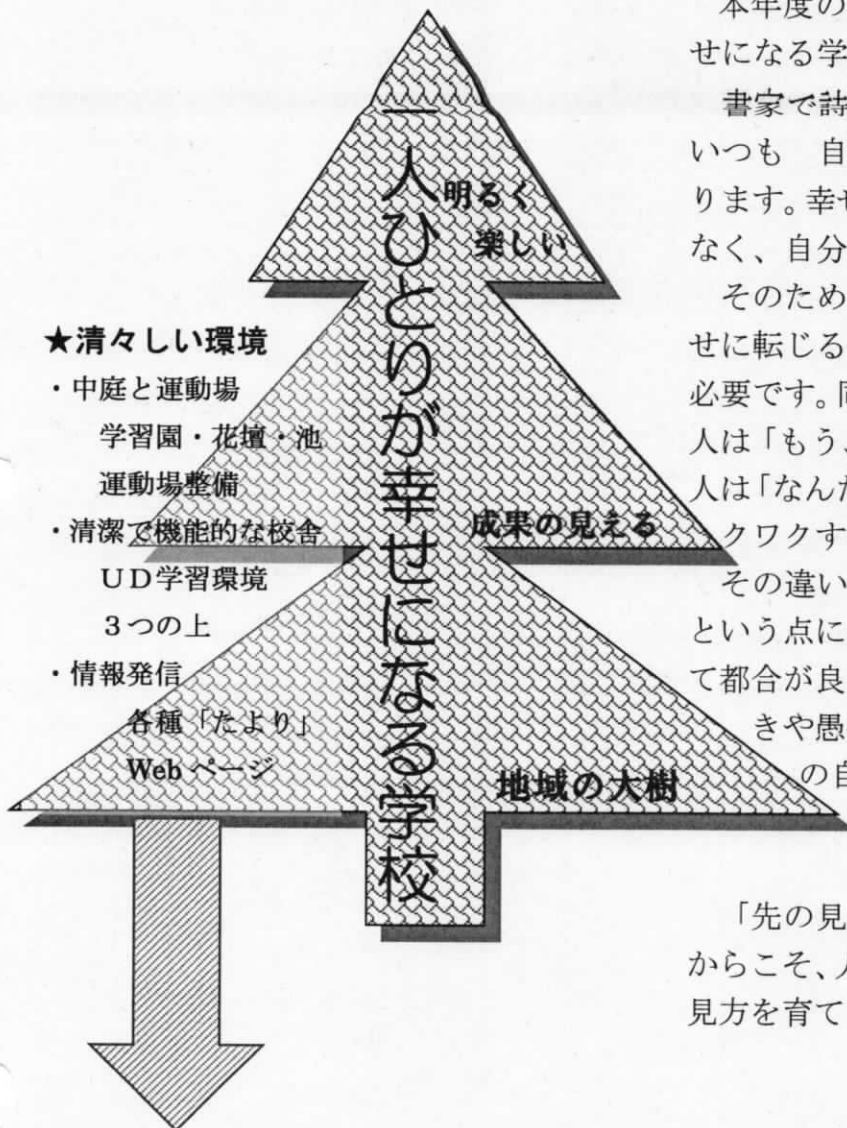
### 2 災害用貯水タンク清掃及び点検作業 (8/21~8/22)

北側駐車場地下に、災害時用の貯水タンクが設置されており、今年は6年に一度の清掃・点検にあっています。作業日に北側から入校する際は十分御注意ください。

### 3 その他

水道関係点検、設備点検、給食室清掃・消毒作業等、一日単位で作業が行われます。

## 本年度の学校経営方針③



本年度の目指す学校像は「一人ひとりが幸せになる学校」です。

書家で詩人の相田みつを氏に「しあわせはいつも自分の心がきめる」という作品があります。幸せは、誰かが与えてくれるものではなく、自分の力で手に入れるものです。

そのためには、「幸せを見つける目」と「幸せに転じる知恵」と「幸せを伝える表現力」が必要です。同じ現象に出会っているのに、ある人は「もう、嫌になってしまおう」と嘆き、ある人は「なんだかおもしろくなってきたぞ」とワクワクすることがあります。

その違いは、その出来事をどう見ているかという点にあるようです。「今の自分」として都合が良いか悪いかという目で見ると、嘆きや愚痴になりがちです。しかし、「未来の自分」として必要かどうかという目で見ると、期待や挑戦のタネにすることができるのです。

「先の見通せない時代」と言われる今日だからこそ、人との関わりを通して、このような見方を育てることが大切と考えています。

心を育てるためには、目に見える環境を整えることも重要です。52年目を迎える伝統ある建物ですので、感謝の心で環境整備に取り組みます。

- (1) 中庭で四季の移り変わりを感じられるよう、学習園の充実を図るとともに、安全に運動できる運動場整備に努めます。
- (2) ユニバーサルデザインを意識して、黑板周辺の整備を図るとともに、机上、床上、棚上の美化に努めます。
- (3) 子供の声や姿が分かるよう、各種「たより」の情報量を増やすとともに、Web ページの充実を図ります。

### 「幸せ」アンケート

保護者の皆さんが、子供を学校に通わせて幸せを感じるのはどんな時でしょうか。本年度の学校経営をより良いものにするために、学校安心メールを使ってのアンケートを実施します。

7月23日に配信しますので、7月31日までに御回答ください。御協力お願いいたします。